

よこはま都市消防



公益社団法人 横浜市防火防災協会

Yokohama Disaster Prevention



表紙の写真: 泉区 近藤 美樹さん

目次 — index —

横浜消防の近代史	2~3
防災講演会の開催報告	3
「減災新聞」の視点	4~5
協会におまかせ	5
消防車は語る(第2回)	6~7
こんにちは「市民防災センター」(前編)	8
救急よもやま話(後編)	9
横浜消防 トピック119	10~11
▶ 消防本部庁舎整備事業 ▶ 救急件数過去最多!	
スペシャル 人的エラーからの脱却	12~13
New 潤滑油と触媒	13
New 災害時こそ美味しい食事を	14
「ひとり整体」のすすめ/新約消防白書	15

連載	● フォト収集	
	● コラム 妄言多謝	
	● 横浜路地裏日記	16~17
	● ベストショット	
	【編集後記】	

46号

1 4月 7 10

| 2020 | Spring |

横浜消防の近代史

横浜開港と市街地の形成

横浜開港資料館
調査研究員 吉田 律人



図 I 横浜本町并ニ港崎町細見全図 1860 (万延元) 年 横浜開港資料館所蔵

日米和親条約の締結によって下田、箱館の開港が決定したものの、貿易の拡大をめざすアメリカは、日本との通商条約締結をめざしていった。下田に着任した駐日総領事タウンゼント・ハリスと幕府との間で交渉が重ねられた結果、1858年7月29日(安政5年6月19日)、小柴沖のアメリカ海軍フリゲート艦「ポーハタン」上において日米修好通商条約が締結された。これに基づき、東海道の神奈川宿の開港が決定したが、日本人とのトラブルを避けたい幕府は、山を隔てた久良岐郡横浜村に開港場を整備していった。その後、戸数約100戸の半農半漁の村落は国際的な貿易都市へと急速に姿を変えていくのである。

写真 I と写真 II は 1859 年 7 月 1 日 (安政 6 年 6 月 2 日) の開港直後の横浜を捉えた写真で、現在、知られている最も古い写真である。撮影者はスイス生まれの写真家ロシエで、イギリス総領事のラザフォード・オールコックとともに来日し

た(横浜開港資料館編・発行『港都横浜の誕生』、2009年)。写真 I は野毛から横浜方面を撮影した写真である。写真中央の建物は神奈川奉行所の役人宅で、この後、野毛から戸部方面一帯は幕府の施設が置かれていく。また、対岸の横浜では、建物が立ち並んでいる。一方、写真 II は旧久良岐郡横浜村を捉えた写真である。木々の中に人家が



写真 I 開港直後の野毛 1859 (安政 6) 年 横浜開港資料館所蔵

集まっている様子がわかる。場所は現在の山下町で、手前の田圃には、後に中華街が形成されていく。さらに海上には、外国の船舶が停泊している様子も確認でき、村落から国際的な貿易都市への変化がうかがえる。旧横浜村の家々は、1860（万延元）年の堀川開削とともに、現在の元町へ移っており、この写真はそれ以前の様子を捉えた貴重な写真といえる。

続いて図Ⅰは五雲亭貞秀が1860年に描いた浮世絵である。開港から1年後の横浜の姿を現在に伝えている。当時、市街地は東西に伸びた砂州、州干島の上に形成され、西半分には日本人街、波止場からの通りを隔てた東半分には外国人居留地が形成されていた。その南側、湿地帯の中に



図Ⅱ 弁天町5丁目の火の見櫓（部分拡大）

は港崎遊郭（現・横浜公園）が設置され、市街地からそこへ至る道には、飲食店が軒を連ねていた。横浜には、国内外の多くの商人が移り住むとともに、それを支える人びとも移住、次第に市街地は南側へと拡大していった。

さて、この浮世絵で注目すべきは、天高く伸びる火の見櫓（望楼）が二つ確認できる点である。一つは金毘羅権現社の脇、弁天町5丁目、もう一つは図の奥、弁天宮の入口にあたる弁天町1丁目付近である。このうち弁天町5丁目の火の見櫓の根元には、図Ⅱのように、纏や高張提灯、天水桶なども描かれている。つまり、市街地の形成によって、都市的な消防設備が横浜に誕生したのである。横浜開港は地域の防火体制にとっても大きな変化をもたらすことになった。



写真Ⅱ 開港直後の横浜 1859（安政6）年
横浜開港資料館所蔵

2019年度 防災講演会開催報告

演題

横浜消防の近代史

—開港から消防署の誕生まで—

- ① 横浜消防の歴史はどこまでわかって、どこまでわかっていないのか？
- ② 近代横浜の大規模火災
（慶応の大火・雲井町大火・埋地大火）
- ③ 横浜消防の特徴
（居留地消防隊の存在）
- ④ 消防署誕生の背景と意義

主催：公益社団法人横浜市防火防災協会
後援：横浜市消防局

日時

2020年 2月19日(水)

◆ 開演 15:00～16:30

場所

神奈川中小企業センタービル

14階多目的ホール

横浜市中区尾上町5-80

TEL 045-633-5019



講師：横浜開港資料館
調査研究員 吉田 隼人氏



会長あいさつ



講演の様子

「減災新聞」の視点

神奈川新聞記者 渡辺 渉



高知や静岡などで導入されている津波救命艇をPRしようと、横浜で開かれた見学会。
南海トラフ地震への危機感が強い地域では、さまざまな対策が進められている＝2019年7月、横浜市中区

「国難」のリスクを見つめる

「国難」とも形容される南海トラフ巨大地震にどう向き合うか。神奈川、特に横浜においては、立ち位置が難しい。国や研究機関から次々と新たな施策や知見が打ち出され、今年1月には、政府・地震調査委員会から沿岸各地の津波高確率が初めて公表された(<https://www.kanaloco.jp/article/entry-252254.html>)が、そうしたリスク情報をどう伝えるべきか、いつも悩んでいる。

静岡から紀伊半島沖、四国沖へと延びる南海トラフは、おおむね100～200年間隔でマグニチュード(M)8級を起こしてきた巨大地震の発生帯だ。主に西南日本が強い揺れと高い津波に繰り返し襲われ、大きな被害を受けてきたことが、各種の記録から分かっている。

ただ、歴史をひもとくと、東側の領域(主に紀伊半島沖)と西側の領域(主に四国沖)で同時に起きたり、

短い時間差で連続したりと、発生パターンは多様だ。

例えば、最大規模の南海トラフ地震だったとされる1707年の宝永地震は同時発生パターン。1854年の安政東海と安政南海は32時間差、そして1944年の昭和東南海、46年の昭和南海は2年差だった。

直近の昭和南海地震から既に70年以上が経過。地震調査委員会が公表している今後30年以内の地震発生確率は、今年1月1日時点で70～80%と極めて高い。発生形態の多様さゆえ、広大なトラフのどこで地震が起きるかまではつかめておらず、国が示す被害想定は「幅広」で、「大きめ」な内容となっている。

東日本大震災翌年の2012年に公表された死者約32万人という被害想定結果(対策の進展などを考慮し、2019年に約23万人に減少)が、その象徴と言える。

政府・中央防災会議の作業部会は「想定外をなくす」狙いから、「発生頻度は極めて低いが、科学的知見に基づいた最大クラスの地震・津波」として、M9の超巨大地震を被害試算の前提に据えた。

12年時点の被害想定で都府県別に死者が最大となるケースを見ると、静岡が10万9千人、和歌山では8万人、高知は4万9千人。これに対し、神奈川の想定死者数は2,900人と一桁以上少ない。しかも、その全てが津波による死者とされている。この数字が、南海トラフ地震の危険性に対する理解を難しくさせている。

南海トラフ地震は、首都圏より西側のエリアが大きく被災する地震で、津波に巻き込まれなければ命は守れる一。

内陸に住んでいたり、津波のリスクが相対的に低い東京湾側で生活していたりすると、そんな風に受け止めてしまわないだろうか。まして公表されている被害の数値は、めったに起きない最大クラスの地震について試算した結果なのだから、注意を払わない人も少なくないのではないか。

しかし、たとえ過大な想定結果であっても、一つの県で3千人近い死者が出るというのは、それだけで「震災」と名付けられるほどの被害だ。大ざっぱに言って、阪神大震災の犠牲者の約半数、熊本地震の10倍ほどの犠牲者数に匹敵する。神奈川県内の各地は震度6弱～

5強程度の揺れが予想され、耐震化や家具の固定などが不十分なら大きな被害は免れない。

来年で10年となる東日本大震災で観測された神奈川県内の最大震度は、横浜市中区などの5強だった。沿岸部に津波は押し寄せてきたものの、浸水被害をもたらすことはなかった。

次の南海トラフ地震が起きるころには、「震災を知らない世代」が増え、当時の記憶はさらに薄れているだろう。そして、私たちの地域に生じる被害は、震災時をきっと上回る。

その時までには備えを積み上げられるか。その瞬間に海辺から確実に避難することができるか。「国難」にしないためには、一人一人の実践や行動が問われる。リスクを伝え続けなければならない理由が、ここにある。



南海トラフ地震による沿岸各地の津波高確率について説明する政府・地震調査委員会の平田直委員長(中央)ら=2020年1月、文部科学省

防火防災 協会におまかせ!

令和2年度の防火管理者・ 防災管理者取得講習及び 救命講習等の日程が決まりました。

申請は
お早めに

◆ 防火管理者・防災管理者取得講習等の申請

横浜市内の建物で、防火管理者又は防災管理者として選任される予定又は選任されている方が受講対象者で、申請手続は次の2通りです。

▶ 消防署の窓口で

受講申請書に必要事項を記載のうえ、各区の消防署(本署)予防課予防係に提出します。受付時間は、平日の8時45分から17時までとなります。

▶ 横浜市のホームページから申請

「トップページ」>「暮らし・総合」>「防災・救急・防犯」>「消防」>「講習・試験のご案内」の順で進み、案内に従って申請してください。

各講習の日程につきましては、当協会のホームページ(<http://www.ydp.or.jp/>)をご覧ください。

なお、受講申請方法の詳細についても、ホームページに記されていますが、その概要は次のとおりです。

ホームページ



◆ 救命講習等のお申し込み

横浜市内に在住・在勤・在学の方が受講対象となります。申込方法は次のとおりです。

▶ 横浜市のホームページから申請

「トップページ」>「暮らし・総合」>「防災・救急・防犯」>「救急」>「救命講習Web予約」の順で進み、案内に従って申請してください。

▶ 電話での申し込み

当協会の救命講習ダイヤル **045-714-9911** にて、予約申し込みの受付をしています。受付時間は、平日の9時から16時まで(正午から午後1時を除く。)となります。

機動消防隊車

太平洋戦争末期、日本はアメリカ軍の空襲を受け全国各地は焦土と化していきます。

東京や横浜は、灰燼となり、県内には守るべきものがなくなってしまいました。

そこで大本営は各地の消防組織に機動消防隊を編成させ主要軍事施設の防御を命じます。神奈川県消防部は、長距離走行に適するニッサン81型消防車を改造して部隊を編成しました。隊長は、横須賀市消防長で退任された松本消防士（消防士は現在の消防司令あるいは司令長相当）でした。

まず、長野県松本市に有った大本営の関連施設に派遣されました。次に山形県酒田市の港湾（軍港）施設の消防警備にあたり、そこで終戦を迎えました。

帰還送別会は盛大なもので、酒田市消防隊員と泣きながら抱き合っ別れを惜しんだそうです。

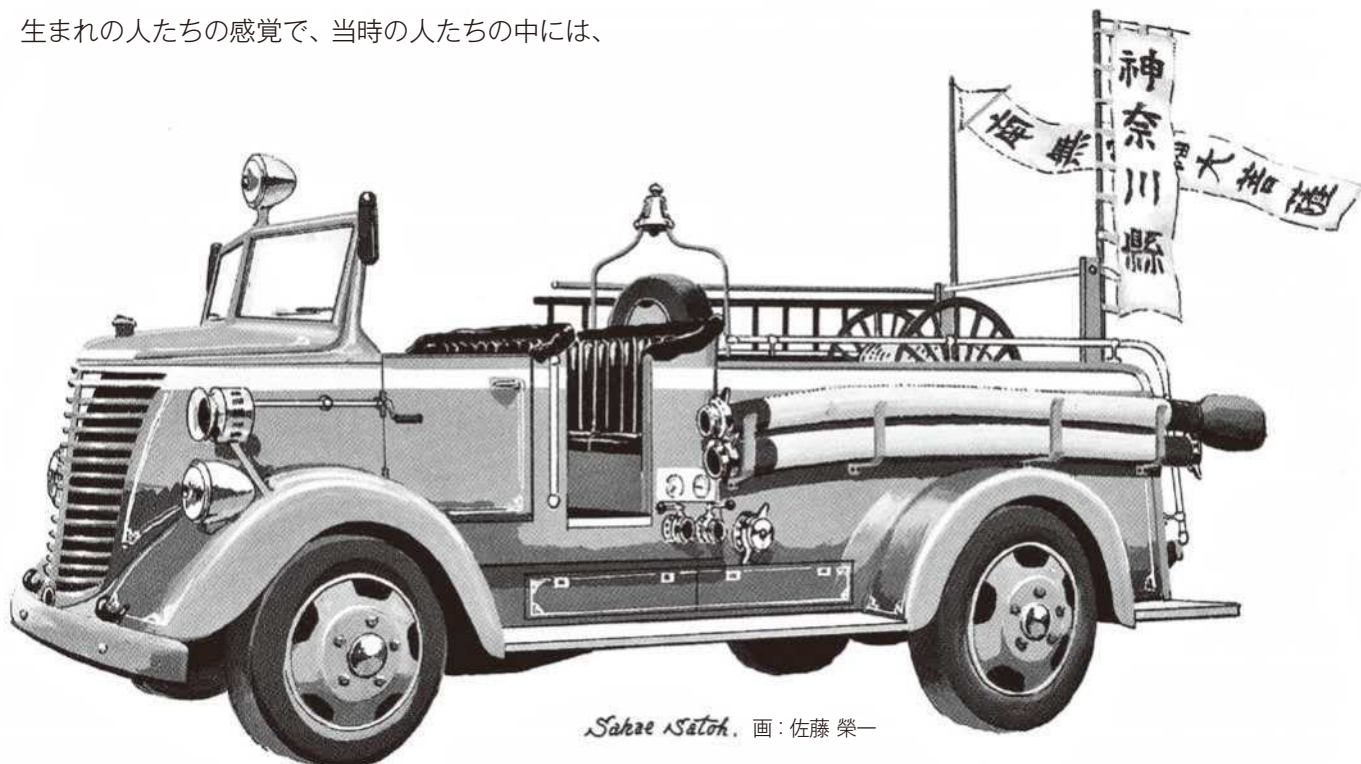
この車両を見ると後部座席があります。当時は、消防隊員はサイドステップ及びリアステップに立ち乗りをすることが当たり前でしたので画期的なものに見えたことでしょう。前座席の扉も同様に斬新的であったと思います。と感ずるのは、戦後生まれの人たちの感覚で、当時の人たちの中には、

「意気地がなくなった。」と嘆く人もいたようです。屋根付きの消防車論議もこのころ起きていました。選抜された隊員たちは同僚から贈られた旗幟を風になびかせ長距離を誇らしく駆け抜けたそうです。車体の白帯は、機動消防隊のしるしで、途中の補給や休憩の時は歓待されたということです。

隊員は、横浜市、川崎市、横須賀市などの消防署から選抜された『精鋭』であったと松本消防長が消防学校で講義されました。

エピソード

前席に扉がついています。そしてサイレンのハンドルがあります。このサイレンを鳴らすのは隊長です。実際は副隊長が操作していたそうですが、副隊長も幹部職員ですから大変だったと言っておられました。車席には序列があるので隊長席に隊員が座ることはプライドが許さなかったそうですが愚直に真剣だったのです。平和な時代の消防がいつまでも続くことを祈ります。



Sakae Satoh. 画：佐藤 榮一

4WD 救急車

4WD、4輪駆動、この車では全輪駆動ともいわれていますが、今では目にも耳にもしなくなりました。フルサイズ SUV の元祖ともいえる車両です。

このシボレー 4×4 救急車は、太平洋戦争終結後に進駐してきた連合軍（実質アメリカ軍）が日本に供与してくれた軍用トラックを救急車に改造したものです。

戦後復興に伴い労働災害・交通事故などが増加して国民福利の見地から消防救急行政を充実させようとマッカーサー司令官の配慮と伝えられています。マッカーサー司令官はエンジェル政治顧問を同行してこの顧問に全国の消防組織を視察させて現代の民主消防の礎を築かせました。

私の父が室蘭市消防本部に在職していた折に顧問の視察を受けお世話した折に、「日本の消防は国民にとって信頼される組織になりうる。」との訓示をうけた当時の写真を見せて話してくれ、私の人生の方向を示してくれました。

さてこの救急車は、車両の性能としては、世界中の戦闘地域で活躍してきたので申し分のないものでした。大都市消防（政令指定都市、当時は十大都市といった）では消防本部ごとに改装して使用しました。救急車としての性能を高めるために消防本部ごとに工夫したそうです。

この横浜型は東京型に比べると救急室を低くし

安定感を良くしてフェンダーの下部をバンパーまで延長して軍用型よりソフトなイメージにすることに努めたそうです（機械課主任談）。

このイラストで目を引くのはボンネットの赤線でしょう。これは連合軍の供与車両を表すもので薄色の車体は赤い線、濃色の車体には白線が塗色されていました。

エピソード

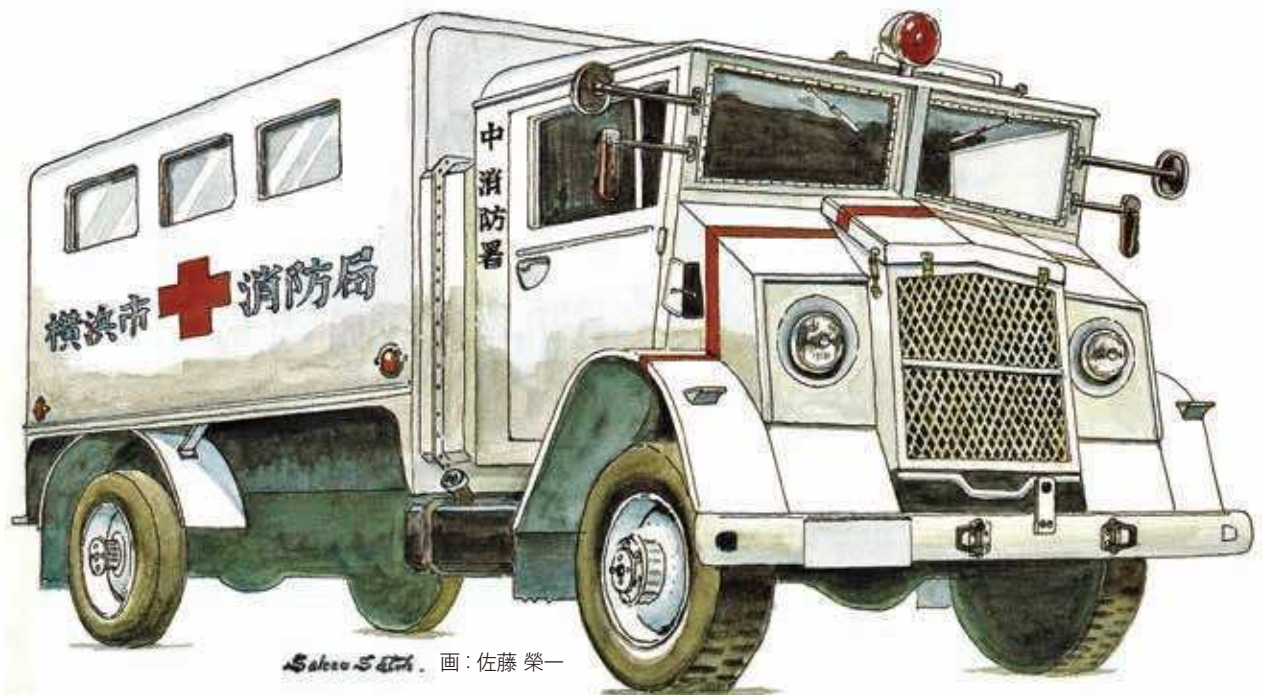
私の中消防署に配置になった時は、救急隊は二人勤務でした。石崎機関員はこの車の印象をいつも語ってくれました。

車両性能とは裏腹に救急車としては、難しい車であったとのことでした、当時、市電が走っていて軌道敷内は石畳でした。軌道敷内は一般車両の通行は禁止されており、緊急車は、そこを走るのですが、軌道敷を走るともの凄いい振動が来るのだそうです。そのような状態を『そろばん道路』と言っておりました。腹痛や頭痛の患者は「おろしてくれ。」というくらい酷いものだったそうです。救急室も隊員が一人になるので経験の少ない職員は心細かったそうです。1965年私が救急乗務のころはワンボックスになっていました。救急救命制度が整備されて、救命士や高規格救急車の採用など、隔世の感をあじわっております。



佐藤 栄一

- ◆ 1942年（昭17）
北海道室蘭市生まれ（父：室蘭市消防吏員）
- ◆ 1965年～2000年
横浜市消防局勤務
- ◆ 2000年～現在
防災アドバイザー（市民防災・福祉防災）
桐蔭横浜大学客員教授（消防・危機管理学）
- ◆ 趣味：ライフワーク
乗り物、建築物、植物等 精密イラスト



前編

横浜市民防災センター

こんにちは。今回は横浜駅にほど近い神奈川区沢渡にある横浜市民防災センターを訪問し、活躍されている職員のみなさんに話を伺いました。



坂野理事と防災センターのみなさん

Q はじめに所長の今山さんにお聞きしますが、施設の特徴を教えてください

横浜市民防災センターは、1983年(昭和58年)に開設されました。現在は「防災・減災教育の場」「横浜市消防音楽隊の活動拠点」「機動特殊災害対応隊の活動拠点」「震災時の応急活動拠点」と4つの顔を持っています。

職員は、展示室の運営等、広報啓発に係る職員14人、音楽隊員38人、機動特殊災害対応隊員16人、私を含めて69人です。

Q どのような防災・減災教育を行っているのですか



今山所長

災害に備えるためには、みなさんがお住まいの地域や、勤務されている場所で、“もし災害が起きたら、どのような被害が発生するのか”をイメージできることが大切です。

そこで、「災害体験ツアー」(60分)を開催し、「災害シアター」「地震シミュレーター」「減災トレーニングルーム」といった様々なコンテンツを、知識豊富なガイドスタッフの解説付きで体験していただくことで、災害の疑似体験をすることができます。

また、「災害時に身を守るための行動」「自助・共助の大切さ」「防災・減災に関する最新情報の取得」といった内容を、大人から子どもまで楽しく学んでいただくことができます。

Q 心がけていることはありますか

音楽隊をはじめ、職員とコミュニケーションをとり、それぞれの持ち場で、気持ちよくお客様をおもてなしできるような環境づくりを心掛けています。

そのかいもあってか、施設リニューアル後、入場者数が4年連続して10万人を超えることができました。

Q 注目度が高く大変忙しいと思いますが、ストレスはたまりませんか

自宅はここから歩いて約10分のところですので、通勤ストレスがなく職近接で大変ありがたいと思っています。プライベートでは、船釣りで時期の魚を追いかけてます。釣り上げた魚は、マイ包丁でさばきます。釣果よりも、大海原で、糸を垂らすだけで、リフレッシュになります。

(とはいえ、釣れないときは竿に八つ当たりしています。(笑))

Q 続いて音楽隊隊長の渡辺さんにお聞きします。音楽隊の歴史を教えてください

横浜市消防音楽隊は、横浜開港100周年、市制70周年を記念し1958年(昭和33年)に創設されました。1964年の東京オリンピックでは、開会式で国家吹奏や選手入場における行進曲を演奏したこともあります。



渡辺隊長

Q 日頃はどのような活動をしているのですか

地域の皆さまのご要望や、行政からの依頼、音楽隊が自主的に企画する定期演奏会など、年間、約200回の派遣演奏を行っており、そこでは、防災・減災のことについて音楽を通じて親しみやすく知ってもらえるように広報活動を行っています。

また、隊員23名で編成しているドリルチーム“ポートエンジェルズ119”は、「ストレートランペット」を使って、華麗で優雅、スピード感溢れる演技を披露しています。

Q ドリル演奏はキレイがありカッコいいですね。相当な訓練が必要だと思いますが

みんな楽器の演奏はかなりのスキルを持っていますが、ドリル演技は初めてなんです。ドリル演技にデビューするまで約半年かかりますが、まず歩き方や、姿勢・顔の表情などの基本的な動きをいやというほど反復訓練します。その後も実際の演技を習得するため猛特訓の日々が続きます。デビュー後も常にキレイのある演技をみなさんに披露できるように派遣演奏の合間に訓練をしています。忙しい毎日ですが業務終了後の夕食は格別です。(やはり、食べるのが一番の楽しみ(笑))

Q 嬉しかったことはありますか

演奏を聴いて客席で涙を流している方がいらっしゃいました。その時演奏した曲で何かを思い出したのか、何に感動したのかはわかりませんが、音楽は人の心を動かすというのを実感しました。これからも皆様の心に響く演奏を心がけていきたいと思っています。

Q 初の女性隊長と聞きました

横浜消防音楽隊61年の歴史の中で、初めてです。横浜消防のみならず、他都市の消防、警察、自衛隊の音楽隊でも女性の隊長は例がありません。私自身もポートエンジェルズ119の出身で、楽器はサクソスを吹いていました。

Q 隊長の役割は

隊長の役割のひとつに、演奏時の指揮があります。棒を振り回しているだけのように見えますが、実は演奏する曲のテンポ(速さ)を指示し、全体のバランスやメロディーを合わせる等、演奏者をまとめて曲を作り上げています。隊員一人ひとりの魅力を引き出すことも大切な役割です。

Q 仕事以外で夢中になっていることはありますか

最近は密かな楽しみとして箸置きコレクションがあります。箸置きには様々なデザインがあり、毎日の食卓に変化をもたらしたり、季節感を添えたりすることができます。旅行先ではご当地ものを購入するなど、ちょっとしたわくわく感を味わっています。

今山所長、渡辺隊長 貴重なお話ありがとうございました。次号でも横浜市民防災センターで働く人たちをお伝えしたいと思います。

今後のイベントの紹介



市民防災センターでも「防災ハロウィンコンサート」「クリスマスコンサート」などの“ふれあいコンサート”を実施している他、「消防フェア」「救急・消防フェア」など、幅広い世代の方々に防災に興味を持っていただくためのイベントを、年間を通じて開催しておりますので、是非ご来場ください。

ホームページアドレス <http://bo-sai.city.yokohama.lg.jp/>

※ 予定されているイベントは、都合により開催時期を変更する場合がありますので、詳しくは横浜市民防災センターのホームページをご覧ください。

救急よもやま話 後編



横浜市防火防災協会
事務局次長 講習担当課長
吉田 茂男

AEDの市民利用開始から2年半後にマラソンランナーを救命!

前編では、AED の市民利用が可能になったきっかけや経緯などについてお話をしましたが、今回は私が救急業務以外で経験した自己心拍再開事例をご紹介します。

当時私は消防署の救急隊長をやっており、ランニングが好きでよく走っていました。その折、第1回東京マラソン大会が 2007 年 2 月に開催されることになり、42.195km のフルマラソンに参加しました。

気温は 5°C、雨でとても寒かったです。そして、ゴール目の前の 41km 地点で、私は男性ランナーが路上に倒れているのを発見。救命士であることをすぐにスタッフに告げ、ランナーを観察したところ心肺停止状態でした。周囲にいた方が心肺停止に気づかず心肺蘇生をしていなかったのは、呼吸をしているように見えたからです。いわゆる「死戦期呼吸」でした。

すぐに 119 番と AED 手配を依頼し、胸骨圧迫と人工呼吸を開始。AED が約 3 分後に届き、電気ショックを 2 回実施して心肺蘇生を続けた結果、自己心拍が再開。その後、自発呼吸も現れ、最終的には呼びかけにもうなずくようになりました。そして到着した救急隊に傷病者を引き継ぎ、マラソンを再開して家族が待つゴールラインへと向かいました。

この事例は、AED の市民利用開始から 2 年半後ということもあり、新聞やテレビで大きく取り上げられ、マラソン大会における AED 配備と救護の有用性や効果を社会に強く訴えることとなります。



2007年2月20日 神奈川新聞掲載 同社提供 複製禁止

そして、本邦のマラソン救護の礎を構築!



2007年11月13日 神奈川新聞掲載 同社提供 複製禁止

この事例を受け、私は同年 11 月の第 27 回横浜マラソンにおける救命体制構築を横浜市から依頼されることになりました。大会当日、横浜消防の仲間ら約 80 名で救護に当たっていたところ、またもやゴール前で心肺停止ランナーが発生。仲間らと心肺蘇生を行った結果、心拍再開し何の後遺症もなく無事に社会復帰されました。傷病者を救護所で待つ「守りの救護」ではなく、1 キロ毎に救護者と AED を配置し、約 30 名の伴走救護者が目配り気配りを行う「攻めの救護」を行ったことが功を奏したものと考えます。

こうした知見や実績が根拠ともなり、現在日本全国で行われているマラソン救護の礎となったのです。

救命講習・スキルアップ研修・講演・救護等のお問い合わせは、お気軽に講習課(045-714-9909)までご相談ください。



消防本部庁舎等整備事業について

■ 横浜市消防局 施設課

事業の概要

消防本部庁舎等整備事業は、「安全・安心を実感できる都市ヨコハマ」の実現に向け、消防防災活動の中枢となる消防本部の機能強化を図るため、保土ヶ谷消防署を市有地に移転整備し、その跡地に消防本部庁舎を整備するものです。

保土ヶ谷消防署は、令和2年1月31日にしゅん工し、2月25日に運用を開始しました。消防本部庁舎は令和2年3月末に実施設計を終え、旧保土ヶ谷消防署を解体した後、12月から建築工事に着手する予定です。

それぞれの概要について、お知らせいたします。

保土ヶ谷消防署

(1) 建築概要等

所在地	保土ヶ谷区神戸町140番地5
電話/TEL	045-342-0119
敷地面積	1,947.95㎡
建築面積	1,156.14㎡
延床面積	2,626.78㎡
階数	地上3階建



(2) 主な特長

災害時の消防機能の継続性の強化

- 震度7程度の地震が起きても施設を使用できるよう、耐震基準の1.5倍の耐震構造を採用
- 計画規模の浸水に備え、1階床面を高い位置に設定
- 最大規模の浸水に備え、止水板の設置や事務室、機械室及び非常用発電設備の上階設置

消防団と消防署の連携体制の強化

- 大規模災害発生時における活動体制を強化するため、消防団の本部運営室や器具置場などを整備

将来の男女比率の変化に対応できる施設

- 男女の配置人員の数に応じて、更衣室の男性エリアと女性エリアの広さを変えられるよう可動式間仕切を採用
- 男女のエリア分けをしない個室仮眠室の整備

消防本部庁舎

(1) 建築概要等

ア 建築規模等

所在地	保土ヶ谷区川辺町2番地9
敷地面積	約 3,250㎡
建築面積	約 2,340㎡
延床面積	約 14,830㎡

(新築棟:11,490㎡、別棟:429㎡、既存棟:2,911㎡)

イ 構造概要

新築棟(本部機能等)

- 高さ 約31m ■ 地下1階/地上7階/塔屋2階
- 1階柱頭部中間層免震構造

別棟(倉庫等)

- 高さ 約15m ■ 地上3階 ■ 耐震構造

既存棟(特別高度救助部隊執務室等)

- 高さ 約24m ■ 地上5階/塔屋1階 ■ 耐震構造

(2) 主な特長

消防機能の継続性強化

- 水害対策
 - ① 計画規模の浸水に備え、止水板、止水扉及び水密マンホールの設置
 - ② 最大規模の浸水に備え、司令センターや機械室、受水槽及び非常用発電機など、重要設備の上階設置
- 震災対策
 - ③ 免震構造の庁舎に司令センターなどの指揮・情報収集機能の整備
 - ④ 星川駅側と国道16号線側への車両動線の2経路確保
 - ⑤ 非常用発電機や空調機など、重要設備の二重化
 - ⑥ 7日間活動できる燃料備蓄や、受水槽、雑用水槽、緊急排水槽の整備

迅速かつ機動的な消防本部機能の強化

- ⑦緊急消防援助隊を受け入れる飛行場外離着陸場や受援室の整備
- ⑧司令センターや消防本部会議室・運営室の一体的整備
- ⑨災害情報の収集や集約、関係機関との調整を図る作戦室を事務フロアに整備

執務環境の改善

- ⑩セキュリティ対策を強化するため、入退出管理システムの導入
- ⑪当直環境の改善として、個室化した仮眠室やシャワーブースの整備



↑消防本部庁舎

↑保土ヶ谷区役所

スケジュール

消防本部庁舎は、新築棟及び別棟が令和2年度に着工して5年度に完成し、既存棟の6年度改修終了をもって、全ての棟の運用を開始する予定です。

	元年度(2019)	2年度(2020)	3年度(2021)	4年度(2022)	5年度(2023)	6年度(2024)
保土ヶ谷消防署	新築工事	運用				
保土ヶ谷消防署 解体		解体工事				
本部庁舎 新築棟・別棟			整備工事			一部事務機能の運用
既存棟改修 (現司令センター棟)					改修工事	全部運用

横浜消防トピック119



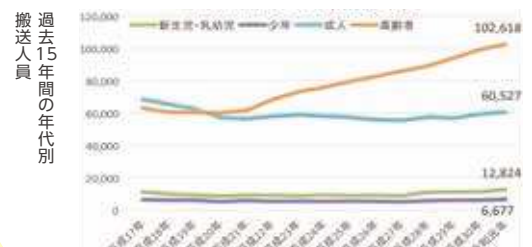
救急出場件数は21万件を超え、9年連続で過去最多を更新!

横浜市消防局 救急課

令和元年中の横浜市の救急出場件数は、212,395件で前年を8,627件上回り、搬送人員は182,646人で前年を6,574人上回るなど過去最多の平成30年より大幅な増加となりました。

搬送人員を年代別にみると全ての年代で増加しており、特に高齢者の搬送は102,618人で前年を3,361人上回り、全般送人員の半数以上となっています。

今後も増加が予測されている救急需要に対応するため、横浜市消防局では救急体制の充実・強化を図るとともに、ケガの予防や救急車の利用方法についての広報など、救急需要対策を推進します。



救急車を呼ぶか迷った時には

「#7119」や「救急受診ガイド」の利用を!

●横浜市救急相談センター(無休・24時間)

☎ #7119 (携帯電話、PHS、プッシュ回線の固定電話) または ☎045-232-7119 (すべての電話でご利用いただけます)

※「意識がない」「呼びかけに反応がない」場合は、すぐに救急車を要請してください。

●横浜市救急受診ガイド

パソコンやスマートフォンで、急な病気やけがの緊急性を確認できます。各消防署で冊子版も配布しています。

横浜市救急受診ガイド

検索



「人的エラーからの脱却」

リスクマネジメントコンサルタント

代表 岡田 康裕



昨年とのことなので、記憶に新しい方も多くいると思われる。令和元年8月21日午前10時15分頃、東北新幹線の仙台発東京行き「はやぶさ46号」(10両編成)が仙台→白石蔵王駅間を時速約280km/hで走行中、9号車のドアが開き、緊急停止した。列車は約40秒間、約2km/hにわたりドアが開いたまま走っていた。当時、ドアの周囲には人がおらず、乗客約340人にもけがはなかった。各新聞の見出しは、「新幹線走行中ドア開く 清掃員「コック」戻し忘れ 時速280km/h」「時速280km/h走行中ドア開く 東北新幹線、コック閉め忘れ けが人なし」というものであった。

月が変わって、9月5日午前11時40分頃、横浜市神奈川区の京急本線「神奈川新町第一踏切」で、青砥発三崎口行きの快速電車(8両編成)がトラックと衝突した。1~3両目が脱線して先頭車両が横倒しになり、少なくとも31人が負傷このうちトラックの運転者は死亡し、列車の運転者は軽傷という事故が発生している。

人的エラーについて、考え始めてからすでに三十数年が経ち、元号も昭和・平成・令和と移ったにもかかわらず、上記に記載の事故や災害は後を絶たない。極めて残念である。

一人一台以上のコンピューターをあやつり、それこそ電車に乗っている時間でさえスマホを操作している時代でありながら、人間と機械との関係性は、いまだ発展途上の状態にあることが一つの要因かもしれない。

人間が持っている注意現象にはいくつかの特徴的な性質がある。注意には選択的性質があること。方向性をもっていること。情

報的な性質があること。心身の活動水準と密接に関係していること。波動・動揺があることなどである。

人的エラーとシステム性災害について考えてみると、輸送システムのみではなく、各種の生産工場、物流倉庫にも注目すべき災害が発生している。平成29年2月16日に発生した埼玉県三芳町倉庫火災では、実に7万㎡を越える焼損面積となり、前年の平成28年12月22日に発生した糸魚川大規模火災の焼損面積約3万㎡を大きく上回るものとなった。

安全人間工学の先駆者の一人である橋本邦衛博士(1912~1981)は、脳波のパターンをもとにして、人間のエラー・ポテンシャルを5段階に分けて、それぞれに対応する意識レベルからエラーの頻度や種類の位置付けを生理学的に分類して、エラー対策として利用することを提唱された。フェーズ理論と呼ばれる。フェーズ0は意識を失っている状態。フェーズIは、強度の疲労、単純作業の繰り返し等により強い不注意状態となる。度忘れ、手抜き、ポカミスが多い。フェーズIIは、リラクセスし、内向き思考となる。休憩状態、日常的な作業はほとんどこの状態で処理される。予測や創造力は働きにくく、別のことに気をとられて手順を忘れる、本当は危険なのに大丈夫と思い込むといったエラーが起こりやすい。フェーズIIIは明快な意識に裏打ちされ、注意の対象も広い。作業上最も望ましい状態。ただ、疲れやすくこの状態は長続きしない。フェーズIVは、過度の緊張や情動の興奮のため、注意の一点集中が起き、判断の切り替えも困難である。いわゆるパニック状態。橋本博士の調査では、慣れた日常的な定常作業はほとんどフェーズIIで処理されてい





ERROR

て、緊張を高く保持しようとしても、普通の状態が続くと、無意識のうちにフェーズIIに落ち込んでいくのが人間であるとしている。橋本博士は、人的エラーの背後要因を探るために、4M法を紹介している。Manについては、エラーをした本人以外の人で、上司、同僚、部下等周囲の人との関係に関する要因で、主にコミュニケーションの問題を検証する。Machine(機械) Media(情報) Management(管理・監督・経営)についてもそれぞれ背後要因を検証していくとするものである。

近年では4M法から発展して4M4E法(Education Engineering Environment Enforcement)、さらには

SHELLモデル、m-SHELモデル、p-SHELモデルなどの方法論がそれぞれの業界で展開されるようになってきている。

さらに近年、レジリエンス工学という考え方に注目が集まっている。システムは様々な要因で不具合が生じるが、それを柔軟な対応で安全に機能を維持できるようにする。人間の作業をマニュアルで縛るのではなく、臨機応変な対応ができるための力をつけることができないうことである。より応用問題に強い人間が求められているのかもしれない。



※岡田氏は当協会の専任講師を務めております。 ※「人的エラーからの脱却」は不定期に掲載いたします。

NEW

潤滑油と触媒

防災を滑らかに伝え、周りを触発する手法アレコレ

【「潤滑油と触媒」は、本誌読者の多くが職場などの防災のリーダーとして、いかに防災を滑らかに伝え、周りを触発するか、その手法として、発信すべきカギとなる言葉とその解説を連載してまいります。(編集部)】

今回の触発キーワード

『助ける人になる前に助かる人になれ』

地震の際に何をすべきか、消火、避難、隣近所の助け合い、など大事な教訓がある。確かにそれも大事だ。

しかしもっと大切なのは、地震発生時に致命傷を負わないことである。大けがをしてはその後の行動が始まらない。

助ける側の訓練をしている人も、大切なのは、まず自分自身が助かることである。

では何をするか、水の備蓄や消火器の設置や避難場所の確認よりも大切なのは、一日の多くの時間を過ごす寝室の地震対策ではないだろうか。

寝室でけがを負わないためには、

- ① 腰より高い家具を置かない、置くなら固定する。
- ② TV、PCは固定する。
- ③ 本棚などは頭部や避難口でない方向に向きを変える。
- ④ スリッパよりもはきなれた靴を備える。足のけがはその後の行動に支障が出る。
- ⑤ 部屋の照明は天井直付けとし、吊り下げ型にしない。
- ⑥ 懐中電灯を置く。
- ⑦ カーテンは必ず閉めて寝る。できればガラス窓に飛散防止の措置をする。

こんな話を自己チェックとともに、周囲の方との話題にしていきたい。



※「各区火災予防協会」だよりはお休みします。

災害時こそ美味しい食事を

第1回



よこはま都市消防ご愛読の皆様はじめまして

戸塚区ヘルスマイトの宇野登志子です。

非常食のあり方の一つとしてローリングストック法はすでに一部の防災アドバイザーの方々によって提案されていますが、今回、より実践的に私達ヘルスマイトがご紹介させていただきます。

大災害に見舞われ日常生活が破壊された時、それでも目の前の現実に立ち向かっていくためには、従来の保存期限の長い非常食のみに頼っていたのでは活力は沸いて来ない!

我が家の食材庫、冷蔵庫内の乾物、缶詰、野菜等々普段食べ慣れているものを活かすことで栄養のバランスのとれたチョットホッとする食事を摂ることができるのでは? もちろん手間をかけず水も火も必要最少限のものを使って!

※ヘルスマイト～食生活等改善推進委員会 宇野 登志子

● ローリングストックとは?



ローリング(循環)させながら
ストック(備蓄)すること

ストック品を使った簡単レシピ

さば缶カレー

1人分(カレーのみ)

エネルギー 305kcal

塩分 1.1g

火を使わずにできる、子どもも食べやすい甘めのカレーです。カレー粉で味を調整してください。

調理時間
7分

作り方

- ① にんじんはすりおろす。
- ② さば缶に①とカレー粉を加えて、さばをほぐしながら混ぜ合わせる。

分量(4人分)

さば味噌煮缶	2缶
にんじん	240g (中、1本と2/3)
カレー粉	小さじ1
ひよこ豆水煮	150g

さらにおいしいひと手間を… (入れた場合の調理時間10分)

甘らっきょう漬(160g(2袋))を入れるとさらにおいしくなります。らっきょうは縦半分に切ってからスライス②で加え、汁は好みで加えます。

- ③ さばがほぐれてきたら、ひよこ豆を加えて、よく混ぜ合わせる。



ローリングストック★ミニ情報

缶詰はそのまま食べてもおいしいですが、缶汁も捨てずに料理に使えます。ドレッシングで味付け、しっとりした食感の手助けもしてくれます。

ヘルスマイト
からの提案

ポイント★1

災害時こそ 主食・主菜・副菜を意識して

栄養バランスの整った食事は、避難生活の心身の疲労を回復させがんばろう! という前向きな気持ちを芽生えさせてくれます。

ポイント★2

災害時こそ「食べ慣れている」という安心感

災害時は想像以上にストレスや不安を感じています。食べることで得られる安心感はとても大切です。普段の食事にローリングストックを活用しておけば、簡単に応用することができます。

いざという時のための 「ひとり整体」のすすめ

● 坂の上の整体院 院長 齊藤 正人

今回は、災害が発生した際に、避難所に、いつでもスムーズに避難できるよう、誰もが関わる可能性のある認知症について、「ひとり整体」を通じて予防することをお伝えしたいと思います。

わが国の65歳以上の認知症高齢者数と有病率の将来推計についてみると、平成24(2012)年は認知症高齢者数が462万人と、65歳以上の高齢者の約7人に1人でしたが、令和7(2025)年には約5人に1人(700万人)になるとの推計もあります。今や認知症は誰もが関わる可能性のある身近な病気です。

三大認知症として、①アルツハイマー型認知症、②レビー小体型認知症、③脳血管性認知症があります。

今回の「ブレインプラスセルフケアメソッド」(以下「メソッド」とは、脳と身体の連携強化を目的にした自分でできる整体(体操)です。それは頭蓋骨の呼吸運動に着目し、脳と脊髄を包み込む“脳脊髄液”の循環を促進

し、大切な脳と中枢神経の働きを整えるものです。それゆえに「メソッド」は、三大認知症の予防に有効な体操と考えられます。

みなさん、認知症予防のひとつのやり方として、「メソッド」を、頭や身体の活性化を目的とした自分で行う「ひとり整体」として紹介します。

こんな方にも効果があります

- 眠りが浅い。
- いつも首肩腰が緊張している。
- デスクワークが長く目が疲れる。
- 頭が重い。
- 何だか落ち着かない。
- 最近疲れがとれない。
- 体が硬い。
- 運動不足で筋力が落ちてきた。
- 足腰が冷える。

ひとり整体の効果の理由

- 頭は1分間に10回前後、縮んだり膨らんだりして脳や脊髄を包みこむ“脳脊髄液”を循環させてる動きをしています。
- まず、頭の整体では、頭の縮んだり膨らんだりする動きをスムーズにします。“脳脊髄液”の循環がよくなれば、脳のストレスを軽減できると考えるからです。
- 次に身体の整体では、脳脊髄液を循環させることにより、身体の司令塔である「脳」と「身体」が連携し、身体のコリを取り、血液やリンパ液の流れを良くしていきます。

耳をゆっくりと引っ張る

真横から始めて、一か所を10秒から30秒かけて緩い力で引っ張ります。耳の付け根を引っ掛けるような感じで耳全体を持ちながらゆっくりと引っ張ります。

ある程度引っ張ったところで止めて、そのまま、耳が緩むのを感じます。



表情筋ほぐす

- 鼻の横からあごの奥に向かって親指で、押していきます。
- 鼻の横とあごの奥をだいたい五分分した場所を一か所につきを3秒ずつ押していきます。



毎月第3木曜日、14時から16時まで、新横浜のオルタナティブ生活館で、「ブレインプラスセルフケアメソッド」の名前で、体操教室(要予約、有料)を開催しております。

お問い合わせ

045-878-5168

横浜市港南区上永谷3-9-20 コーポ齊藤102号室

新約消防自書

希薄な鍵の存在

迫りくる煙の中、入院患者たちは出口へ向かったが、非常口は、内側から南京錠で施錠され、避難者は非常口の横の窓や非常口の網入ガラスを破り脱出したものの、避難を試みた重症患者1名は非常口付近で力尽き命を落としている。昭和52年札幌市の病院で発生した火災であるが、鍵はナースステーションに保管されていた。

鍵の扱いを疎かにすると重大な結果を招く。しかし、我々はどれほど鍵に重きを置いているだろうか。

ラフカディオ・ハーンが日本で初めて旅籠に宿泊した際、鍵への関心がないことに驚愕している。「日本人の生活に



は、いかなるプライバシーも存在していない。(略)扉の代わりに左右に開く襖があるだけで、人々は日中は鍵も錠もかけたりしない。

(略)日本ではこうした状況が大昔から今日に至るまで連続と続いてきたのである。」「(『新編 日本の面影(2)』)

一方、イギリスの要塞ロンドン塔では、鍵を警護する「鍵の儀式」というセレモニーが毎夜10時に行われている。鍵の儀式は、衛兵により700年もの間一日も欠かさず連続と続けられており、鍵が日本とは桁違いに重要視されている。

建物の近代化が進み、防犯意識も高まる中、施錠への重要度が強まっているとは言え、未だ日本人は、鍵への関心が希薄です。それ故、非常口が、いざという時、間違いなく解除できるかを日ごろから注視しておく必要があるでしょう。(K)





「フォト収集」 #11

「ふたり」

柔らかな日差しの中、紫陽花の花卉。仲良さそうなふたりに見えませんか？

撮影地：鎌倉

カメラ：PENTAX K70

データ：1/125 秒 f4.5 60mm ISO200

住所：横浜市

イニシャル：M.N.

もう一言多謝 第11回

二人の書評集を読んだら驚いた。池澤夏樹は小説家で読書家である。小説家と読書家はかなり重なっていると思いきやそうでもない。読書家で読み巧者こうしゃで小説家というのはあまりない。16年分の444冊を褒めること褒めること、尋常ではない。何かを褒めている文章を読むことは快い。おもしろい本を探し出す助けにしようという気持ちはとうに失せている。一番少ないワ行の人名索引でもオスカー・ワイルド、ジョージ・ワシントン、渡辺一夫、渡辺京二、和辻哲郎がいる。もう一人の読書家で読み巧者せきがく井波律子は中国文学の碩学せきがくである。30年間に書いた本についての文章の人名索引には

青木玉、池内紀、折口信夫、佐藤忠男、ジョン・ル・カレ、内藤湖南、マキノ雅広までいる。

二人とも褒めるために取り上げ、その褒め方に敬意と気品が漂う。江藤淳が書評に際し、作品を貶けなすために取り上げて

はならないと言った。書評ではないが、車谷長吉撰短篇小説輯「文士の意地」には彼の撰んだ鬼気迫る小説が載っている。そこにある作品のおもしろさもさることながら、撰んだ人の魅力に迫ることができる。多分これは対象を見つめることに敷衍ふえんできるだろう。いい友人を持つと会話はいつも何かを褒めている。分野は問わず。(し)



※ 碩学(せきがく)とは…学問が広く深いこと。そういう人

※ 敷衍(ふえん)とは…意味のわかりにくい所をやさしく言い替えたり、詳しく述べたりして説明すること。

横浜路地裏日記

YOKOHAMA ROZIURA NIKKI

連載 第10回

文と写真 ● ジャム

カノンという音楽技法のあることは、なんとなく知っていた。さちんと理解をしているわけではないけれど、気持ちのいい感じになる音階であることは分かっていた。弘明寺駅を下車、かんのん通りにつながる坂を下りて観



音様に会いに行くときのだらしなく投げやりに足を出していく感じか。それではあまりにも観音様に失礼というものだ。

お参りをして、かんのん橋まではあつという間。弘明寺駅と鎌倉街道まで続くかんのん通りの

ほぼ中間地点に橋はある。三の付く日でもなく、八の付く日でもない、桜



も咲いていない、とにかく何でもない日のかんのん橋。

大岡川が静かにひっそりとどちらかというところ可愛らしく流れている。

わずか300メートルほどのかんのん通りではあるが、店舗の充実度はぐっとくるものがある。酒屋さんの品揃え、八百屋さんの野菜、漬物屋さんの品数、焼き鳥屋さんの焼き物、和菓子屋さんの仕事。かんのんラーメン、かんのんまんじゅう、観音最中^{かんのんもなか}はご愛嬌。そんなことを思っていると気付いたことが・・・。

本来お参りをするのであれば、鎌倉街道側から歩かなければいけないのではないかと調子にのっている場合ではないのではないかと。どうするんだ、オレ。

そう思ったとき、さらに空腹に気が付くのだ。もどりつつ気になっていた洋食屋さんに入ってしまう。その本気度の高さに驚愕して、お参りをやり直そうとしていたのに、満足して帰途についた。

わたしのベストショット!!

撮影：近藤 美樹さん



指揮本部は災害対応のカナメです。

編集後記

小誌が伝えたいテーマは何か、各ページを読み直して考えてみた。

『災害がどのような被害をもたらすか、最悪を思い描くのはつらい。この国で暮らすのに欠かせぬ心得になりつつある。たくさん心配はあるし、知識や教訓を学ぶことは大切だ。しかし一番の災難は何か、それは災害対策の教訓や情報を知りながら、いざ、ことが起きた際に何もしていなかった自分自身を悔やむ姿ではないだろうか。』

災害に遭うことは確率論を待たずとも避けられない時代に入っている。さらに災害は弱いところを直撃する。何もしていないところに被害が拡大しやすい。

地震や大災害、被災したその時の気持ちは本当に苦しく大変だと思う。その際、「あの時準備しておけばよかった」と悔やむことは、さらに辛くなるだろう。

そして実は、まさに今があの時で、明日がその時かもしれない。本誌のテーマは「歴史から学び」「今を大切に」「災害に備えること」であると気づかされた。』
と、言っていただけたら嬉しい。

(アルガ)



防火管理者必携!

「消防関係法令集」販売中

- 防火・防災管理の業務を行う上で必要となる消防関係の法令を網羅した実務書です。
- 横浜市火災予防条例も編さんされており、法令、条例、両面の規制が把握できます。
- 監修/横浜市消防局予防部予防課
- サイズ/A5 ● 重さ/約1,200g

2,750円(税込)
(当協会会員 2,500円)



購入方法

- ① 当協会窓口で購入
- ② 宅配を希望
(申込用紙を送付します。送料等の御負担をお願いします。)

問い合わせ先

電話 **045-714-0920**(総務課)

「横浜市防火防災協会」のホームページにご案内と注文用紙がありますのでご利用ください。

横浜市防火防災協会

消防用設備一式 設計. 施工. 販売. 修理. 点検

消 火 器	漏 電 警 報 器
自動火災報知設備	屋 内 消 火 栓 設 備
避 難 器 具	スプリンクラー設備
非 常 警 報 設 備	誘 導 灯

株式会社



東横防災商事

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘4丁目2-3-206

☎(045)921-1244

FAX(045)923-0677

創業50年

消火器・消防ポンプ他
各種防災機器の販売
火災報知機他・各種防
災設備の設計施工・点検

株式会社 かんぼら 蒲原商会

横浜市港北区樽町3-1-13
TEL (045) 542-7266 (代)
FAX (045) 542-7252

横浜油材株式会社

- 石油部：重油・軽油・灯油・潤滑油
- 洗剤部：クリーニング工場向け洗剤、資材全般
・工業薬品、有機溶剤
(業務用水洗機・ドライ機・コインランドリー設備施工全般)
- 工事部：危険物工事設計施工及び解体工事一式
- リサイクル部：中古タンクローリー、中古給油機、
中古コンプレッサー等

〒245-0018
横浜市泉区上飯田町1465-2
TEL 045-803-3508
FAX 045-803-3594
URL : <https://y-yuzai.com/company/>



創業57年の **消防設備** の事なら
信頼と実績

何でもご相談ください!

点検・工事 防災用品の販売

横浜型地域貢献企業

横浜消火器株式会社

横浜市磯子区馬場町1-48 HP: <https://hinoyojin.com>

 **0120-963-890**

**消防・防災
機器販売**



廃消火器の処分は所定の
手続きが必要です。
買い替え・処分は弊社に
お任せ下さい。

**消防設備
工事・点検**



**防災用品
販売**



《創業71周年》消火器リサイクル推進センター 特定窓口

双信消防設備株式会社
横浜市西区中央1-37-24 ☎ 045-321-1884

- ◆地下埋設タンク・配管の
気密漏洩検査
(一般財団法人 全国危険物安全協会 第14012号)
- ◆産業廃棄物の処理・再生
各種タンク・ピットの清掃工事
(弊社でリサイクル可能な廃油は買取り致します)

《ISO14001認証取得》

 **三美興産株式会社**

〒223-0059 横浜市港北区北新横浜一丁目9番地2

TEL 045(549)3551 FAX 045(548)2102

URL: <http://www.sanbikosan.com/>



行動力に**自信**アリ!

常にお客様目線で**ニーズ**にお応えします。

日頃のご愛顧に感謝いたします。
これからも変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。

吾妻印刷株式会社
〒232-0006 横浜市南区南太田 4-8-12
★お電話でのお問合せは…平日9:00～19:00★
www.azma.co.jp

■本社・工場
Tel.045-730-5161(代) Fax.045-730-5171
■ディスプレイ事業部 プレセンス
Tel.045-341-4475 Fax.045-341-4476

横浜 吾妻印刷

QRコードをスマートフォンまたはタブレットで読み込みますと、当社サイトをご覧いただけます
(通信料はお客様負担です)

神奈川県民のための

火災共済

組合員のみなさまが火災等に遭ったとき、互いに助け合う制度です

例えば、700万円の保障での年間掛金

マンション等 (耐火構造) 専用住宅の場合	2,800円
木造・準耐火等 (非耐火構造) 専用住宅の場合	5,600円

*新規にご加入の際、組合員になっていただくため、100円の出資金が必要です。

広告内容は概要のため、詳細は下記までお問い合わせください。

たいせつな建物と家財…

- 火災
- 水漏れ
- 落雷など

もしものリスクに備える保障!

築年数に関係なく、
同じ加入基準額で
加入できます!

横浜市孤立予防対策協力事業者

横浜市民共済生活協同組合 ☎ **0120-073-203**

横浜市中央区日本大通58 日本大通ビル 8階 [受付時間] 月～金/8時30分～17時15分(祝日・年末年始を除く)

消防界の今日を創り、明日を拓く

シリーズ防火

A5判
2色刷

詳細は
こちら!



1 事業所編 32頁
定価(本体140円+税)



従業員など、一人ひとりが「自分の職場から絶対に火事を出さない」という姿勢で日頃から取り組むことを啓発する一冊。

2 消防計画編 16頁
定価(本体96円+税)



防火管理等の基本となる「消防計画」の重要性とそれに基づく関係者の役割と活動について解説。

3 訓練編 16頁
定価(本体96円+税)



「自分のところは自分で守る」ため、そして「いざというときのため」に消防訓練は不可欠。効果的な訓練のためのポイントを簡潔に解説。

神奈川県とのコラボ第1弾!
組織立った活動をする前の対応をまとめた
今までなかったサポートブック!

詳細は
こちら!



消防団初動対応 サポートブック 大規模災害編

編集/神奈川県消防課

- ポケットサイズ(130mm×80mm) ●リング製本(着脱可能)
- 32頁/オールカラー ●定価(本体770円+税)

※神奈川県と東京法令出版は、神奈川県民の防災及び防火意識の向上並びに対応力の強化を目的とした普及啓発を図っていくことを目的に、「(防災・防災の普及啓発等に関する協定)」を締結しました。「消防団初動対応サポートブック(大規模災害編)」は、この協定第1弾の書籍です。

本書の特長

火災
救急
救助

など

発生する様々な事案ごとに対応手順を明記。「確認事項」「判断基準」にチェックすることで、迷わずに適切な対応ができます。

見開き
上面

災害の種別ごとに
「確認事項」
「判断基準」
「活動内容」

見やすく
使いやすい
見開き構成

を **フローチャート** で
解説!

見開き
下面

上面の **フローチャート** で
重要な部分を
豊富な **イラスト** で
分かりやすく解説!



東京法令出版 株式会社

インターネットでお申込み
お申込みはこちらから
<https://www.tokyo-horei.co.jp/>

お電話でお申込み
0120-338-272

FAXでお申込み
0120-338-923

公益社団法人 横浜市防火防災協会

〒232-0064 横浜市内南区別所一丁目15番1号 BML横浜ビル2階

URL <http://www.ydp.or.jp/>

FAX 045(714)0921



□ 総務課 TEL 045(714)0920
□ 防災コンサルティング課 TEL 045(714)0929

□ 講習課 TEL 045(714)9909
□ 救命講習受付 TEL 045(714)9911